



メダルをかけて！よいスタート！！

1/12 ビホロチャレンジカップスピードスケート大会

大正橋スケート場において、幼児から中学生までを対象としたスピードスケート大会が開催され、参加した子ども達がメダルをかけて熱いレースを繰りひろげました。

びほろ町

ぎかい

12月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など……………2P
陳情・意見書……………3P

こんなことを聞きました

一般質問 9人登壇……………4P

町民に見える議会活動を目指して

移住・定住施策、公共交通施策 外
(総務文教厚生常任委員会)……………14P
滞在型観光施策、産業振興施策 外
(経済建設常任委員会)……………15P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.235 令和2年2月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会



12月定例会のあらまし

【10日】会期を3日間と決定し、町長から行政報告を受け、議員4名（稲垣・藤原・戸澤・馬場）が一般質問に登壇。国保病院、図書館、防災減災、財政運営等について活発な議論が交わされました。

【11日】議員5名（伊藤・木村・坂田・岡本・大江）が一般質問に登壇。鳥獣被害対策、美幌高校の生徒確保、教育行政、高齢者福祉、新規就農者支援等について活発な議論が交わされました。

【12日】議案審議に入り、事業の計画変更、条例改正、補正予算案を審議し、いずれも原案どおりに可決しました。次いで、網走川河畔公園パークゴルフ場の整備についての陳情は総務文教厚生常任委員会に付託することとされ、その後1件の意見書案を可決、3件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告(要旨)

◆美幌町立国民健康保険病院の医師の退職について

国保病院の常勤医師4名が令和2年3月末にかけて退職することとなりました。町としましては、それぞれ慰留に努めてきましたが、本人の意思を尊重して退職を承認したところであります。町民の皆様及び国保病院利用者の皆様にご心配をおかけしますが、今後とも診療体制充実を目指し、最大限の努力を継続していきます。（※その他、農作物の生育状況についてなどの報告がありました。）

条例改正

12月定例会に提出された条例改正等はすべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

◆会計年度任用職員の給与等に関する条例
（会計年度任用職員制度の導入に伴い、給与等の必要な事項を規定するもの）

◆災害弔慰金の支給等に関する条例
（災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、償還金の猶予及び免除にかかる要件が拡大されたことによる改正）

補正予算

12月定例会・平成31年度補正予算はすべて原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

◇ふるさと寄附金の増 8,000千円（歳入）
ふるさと寄附金の収入が32,000千円から40,000千円に増える見込みのため。

高齢者等運転免許自主返納報償 500千円
運転免許自主返納者数が120名から145名に増える見込みのため。

1 件の陳情を総務文教厚生常任委員会へ付託

令和元年12月定例会では、1 件の陳情について、所管する総務文教厚生常任委員会へ付託されることとなりました。ここでは主な内容について、お知らせします。

網走川河畔公園パークゴルフ場の整備について

現在、網走川河畔公園パークゴルフ場は、多くの町民に利用され、特に中高齢者の健康保持に大きな役割を果たしている。

利用者から寄せられる様々な問題点や要望・意見等については、所管する教育委員会及び管理を受託する美幌町スポーツ協会、美幌町パークゴルフ協会で毎年協議の場を設け、改善に努めているところだが、特に強く利用者から要望されていた課題である下記の項目については、施設改修後においても状況に変化は見られず、利用者から懸念の意見が寄せられている。

については、緊急を要する課題として下記の項目を陳情するので、解決に向けて適切な対策を講じていただきたい。

- ①網走川河畔公園パークゴルフ場いちい・つつじ・さくらコース駐車場へのアクセス道路の舗装化
- ②大正橋から網走川河畔公園パークゴルフ場への出入口の拡幅



1 件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和元年12月定例会では、1 件の意見書案を可決し、国の関係機関へ提出しました。ここでは主な内容について、お知らせします。

- ◆「国による妊産婦医療費助成制度創設」並びに「福祉医療制度の実施に伴う国保国庫負担金の削減廃止」を求める意見書



一般質問には9人が登壇

質問者と質問項目

- 稲垣 淳一議員……………4頁
 - ①美幌町立国民健康保険病院の医療体制について
 - ②町民の健康増進策について
- 藤原 公二議員……………5頁
 - ①防災減災について
 - ②美幌町図書館利用促進
- 戸澤 義典議員……………6頁
 - ①防災・減災について
- 馬場 博美議員……………7頁
 - ①財政運営について
 - ②行政の町民参加について
 - ③網走川河畔公園パークゴルフ場の整備について
- 伊藤 伸司議員……………8頁
 - ①鳥獣の被害対策について
 - ②外国人における土地買収
- 木村 利昭議員……………9頁
 - ①美幌高校の生徒確保の取り組みについて
 - ②移住定住促進の窓口
 - ③女満別空港と美幌町を結ぶ交通手段の確保
- 坂田 美栄子議員……………10頁
 - ①特別支援学級の教育環境の整備
 - ②教材用備品の整備について

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあつて最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

- 岡本 美代子議員……………11頁
 - ③児童・生徒のコンタクトレングスの使用状況
 - ①高齢者福祉について
 - ②福祉行政について
 - ③外来種アメリカオニアザミの駆除について
- 大江 道男議員……………12頁
 - ①新規就農者等支援拡大
 - ②峠の湯びほろの集客増対策について

こんなことを決めました

国保病院 退職による医師確保の見通しは

稲垣 淳一 議員

答 常勤医師確保に重点をおいて取り組んでいく



問 国保病院の常勤医師4名が3月までに退職することになったが、医師確保について、現在の状況と今後の見通しは。

答 インターネットの医師転職サイトを活用したダイレクトメールの送信や、医師募集サイトへの登録、民間の医師紹介会社への訪問などを行っているところだが、採用の見通しはたっていない。引き

続き医師確保に取り組んでいきたい。

問 夜勤体制等、医師の負担が増えることになると思うが、救急医療体制についての現状と今後の対応は。

答 後任の医師が見つかるまでの間は、可能な限り残る常勤医師による対応で救急医療の継続を行っていくが、医師の負担が過度にならないよう、状況によっては外部医師による対応も必要と考えている。まずは、常勤医師の確保を最優先に考え、取り組んでいきたい。



～ 国保病院 ～

受動喫煙対策

今後の考えは

問 受動喫煙防止策として美幌町でも公共施設での禁煙対策が進められているが、この取り組みを民間施設等にも広く普及させていく考えは。

答 北海道では、「北海道受動喫煙の防止に関する条例（仮称）」の制定に向け、現在協議され

ているところ。条例案では、北海道、道民、事業者、関係団体のそれぞれの責務を定め、事業者の責務として「北海道及び市町村が実施する受動喫煙防止対策に協力する」となっている。

町としても引き続き受動喫煙防止を推進し、北海道が制定を進めている条例を周知することで、受動喫煙が生じない環境づくりに取り組んでいきたい。

問 学校教育において、たばこの害についての教育が求められていると思うが、町の考えは。

答 学習指導要領に基づき、小学校では6年生の保健で「喫煙の害」と「薬物の害と健康」を各1コ

マ実施しているほか、町の保健師による保健学習も実施している。中学校では3年生の保健体育で「喫煙の害・受動喫煙」を1コマ、加えて「生活習慣病」2コマの中でも喫煙の害に触れるなど、義務教育現場においても喫煙に関する学習に取り組んでいる。引き続き、美幌町第三期健康増進計画に基づき、受動喫煙防止の啓発と推進に努めたい。



防災訓練 問 防災訓練における海外研修生の参加は

藤原 公一 議員

答 今後は海外研修生を含め訓練の充実を図りたい



問 6月定例会で、海外からの研修生を含めた災害訓練・避難訓練が必要ではと質問していたところだが、本年開催された総合防災訓練では海外からの研修生は見受けられなかった。参加の呼びかけは。

答 今回は、初めての全町訓練であったことから、一般町民の方を参加対象とし、海外研修生の皆様への周知は見送った。

問 今後は研修先企業が実施する防災訓練に、関係したうえで、海外研修生の皆様に対する防災訓練の充実を図っていききたい。

答 障がい者や高齢者などの災害弱者に対して、町として今後どのような支援をしていくのか。人員の確保はどうするか。

答 町では避難行動支援者対策計画に基づき、避難行動要支援者名簿を作成しており、自治会や民生委員の協力を得て、個別計画書を策定している。計画書には避難支援者や避難場

所などが記載されており、副本が各自治会長及び避難支援者に交付されている。今後も自治会の協力を得ながら取り組んでいきたい。

問 人員の確保については、自治会、自主防災組織に加え、防災士、防災マスターなど「共助」の主体となる方と行政が連携し、体制を強化しながら、人員確保を図っていききたい。

図書館

利用促進の考えは

問 図書館の開館時間を19時や20時まで延長できないか。

答 過去に要望を受け、開館時間の2時間延長を試行したが、夜間の来館者が少なかったこと、現体制では運営が難しいことなどから現在に至っている。現段階では職員を増員してまでの延長は難しいと判断しているが、利用者ニーズなどを調査しながら検討したい。

問 子どもの読書離れを防ぐため、読書通帳を導入できないか。

答 読書通帳は、銀行の通帳のように借りた本の題名などを通帳型の冊子に印字し、履歴などを記載することにより、読書意欲を高めようとするもので、導入にあたっては、通帳機の設置やシステム改修などに多額の経費がかかることから現

段階では考えていないが、今後、導入図書館の事例を研究していきたい。

問 図書館まで足を運ぶことができない方のために図書宅配を導入できないか。

答 「身体が不自由」などの理由により図書館に來られない方のために宅配サービスを実施している。申請があれば電話等で連絡を受けた本を職員が自宅まで届け、返却についても同様に対応している。



～ 美幌町図書館 ～

防災減災 問 防災訓練の改善点と来年度以降の訓練は

戸澤 義典 議員

答 多くの方に関心を持ってもらえる訓練にしたい



問 本年行われた総合防災訓練について、

良好だった点と改善点、また、来年度以降の訓練をどのように行うのか伺いたい。

答 タイムスケジュール

ルや会場でのアナウンス、関係団体との打合せ不足等の反省点が多かったが、「防災・減災」に興味を持ってもらえたので、反省点を改善し、多くの方に関心を持ってもらえる訓



～ 総合防災訓練 ～

練の実施に努めたい。なお、来年度、再来年度の訓練は従来の自主防災訓練の実施となるため、今回の総合防災訓練は令和4年度の予定。

問 北海道と北海道

教育委員会が計画・サポートしている「一日防災学校」について、旭小学校だけが2年連続実施し

ているが、美幌小学校や東陽小学校については。

答 旭小学校が町内

各校に先駆けて実施しており、防災に関する危機意識の重要性を確認できたと報告を受けている。未実施校に対して実施検討を要請しているところであり、美幌小学校と東陽小学校では次年度の実施を検討している状況。

問 大規模災害時の

災害廃棄物（災害ごみ）について、各地で処理上の問題が起きていますが、美幌町における災害ごみの対応と、災害廃棄物

処理計画の策定状況は。

答 美幌町においては、美幌町地域防災計画の中で法令に基づき措置を講ずること、処分場への搬入が困難な場合は仮置き場を定めることを規定しているが、具体的内容は定められていない現状。

災害廃棄物処理計画については、現在は策定していない状況だが、国では2025年度に策定率都道府県100%、市区町村60%を目標にしており、本町でも計画の策定を進めていきたい。

問 福祉避難所につ

いては、アメニティ美幌、緑の苑、あさひ在宅ケアセンターの3施設が指定されているが、災害時に

何名の受け入れが可能か。

答 状況にもよるが、3施設で100名の受け入れが可能と想定している。

問 災害発生後のボランティアの受け入れ体制はどのようになっているのか。

答 支援に駆けつけてくださる方に効率的に活動いただくには、しっかりとした受け入れ体制を構築する必要はあるが、具体的なマニュアルの整備には至っていない。ボランティアの受け入れには社会福祉協議会やボランティア団体等と町が連携、協働することが不可欠であるため、今後、関係団体との協議を進めていきたい。

財政運営 問 今後の財政状況の推移は



馬場 博美議員

答 直ちに計画の修正が必要な状況には至らない



問 財政運営計画について。①今後の施設整備や維持管理の費用を含めた財政状況は。②実質公債費比率のピークは。③

災害や町民生活に欠かせない事業が急に必要となった場合の対応は。④今後の財政健全化の具体的な考えは。

が財源を見込めるため、直ちに計画を修正しなければならぬような状況には至らないと判断している。②ピークは令和10年度の一〇・一％と予想している。③

備荒資金の取り崩しや起債、補助金等の活用により財源を確保していく。④現在進めている施設の整備を行い、計画に沿った財政運営を実行することで健全な状態を維持できると考えている。

問 令和2年度の予算編成についての考え方は。

答 厳しい財政状況

を踏まえて、全ての事業の見直し、新たな施策については、町民ニーズをしっかりと把握し予算編成を行うよう職員に指示している。「美幌の活力を高め、次代につなげるまちづくり」の実現に向け、予算を編成していきたい。



町民参加

意見交換会の開催は

問 自治基本条例では広く町民参加を求めており、審議会の

開催やパブリックコメントなどは実施しているが、自治会や各種団体との意見交換会も開催すべきでは。

答 町民の生活に大きな影響を及ぼす事案などに対し、各自治会から要望を提出いただき課題の把握に努めているほか、自治会連合会や商工会議所など各種団体との意見交換も随時行っている。今後も出前講座や広報紙、ホームページなどの充実を図り、広く意見を伺いながら行政運営を進めていきたい。

パークゴルフ場

整備の考えは

問 網走川河畔公園パークゴルフ場の整備について。

①駐車場までの道路を舗装すべきと考えるが。②大正橋付近の出入口拡張が必要では。③トイレを増設すべきでは。

答 ①網走開発建設部と協議し、基準が一部緩和されていることを確認できたことから、今後は整備の規模・財源等について慎重に検討し、実施の可能性について関係機関と協議していく。②網走開発建設部より、大正橋付近の堤防には光ケーブルが敷設されていることから堤防改修による拡張は難しいとの回答を得ている。③トイレなどの仮設物は、洪水などの災害時にすべて撤去しなければならず、災害時の対応を考えると増設は難しい。

鳥獣被害 問 ヒグマ対策に高圧電流の防護柵の助成は

伊藤 伸司 議員

答 現在のところ推奨・助成する考えはない



問 今年度は他町村だがヒグマによる乳牛の被害も多数聞かれており、本町の住民からも不安の声が上がっている。ヒグマ対策にも効果がある高圧電流などの防護柵を推奨・助成する考えはないか。

答 ヒグマ対策としては、猟友会への協力依頼と箱わな設置により捕獲に努めている。侵入防止対策として防護柵を設置する場合、高圧電流が流れるため、しっかりと管理が必要になり、人に対する危険も生じるため、現在は推奨・助成する考えはない。

問 ヒグマの捕獲状況と箱わなの数は。

答 今年度の箱わなの設置状況は、登栄4基、古梅2基、駒生1基、豊富1基、福住1基の合計9基。ヒグマの捕獲状況は、猟友会の協力によるものが2頭、箱わなによるものが1頭の合計3頭。年度別には27年度3頭、28年度1頭、29年度4頭、30年度1頭と



～ 箱わな ～

なっている。

問 登栄廃棄物処理場周辺ではカラスによる甜菜などの農作物の被害が多数報告されており、カラス対策を強化する考えはないか。

答 登栄廃棄物処理場の埋立地には餌となる生ごみが埋め立てられるため、カラスが多く生息しており、他の地域よりも農業被害が多く、被害軽減のため希望者に爆音機の貸し出しや鳥獣退散ロケットや花火の提供などを行っている。埋立地では許可を受けて、箱わなによる捕獲も行っており、引き続き、小まめな即日覆土の徹底や箱わなでの捕獲に努めていく。



外国資本の土地買収

国や道の反応は

問 北海道では外国資本による土地買収



が増え続けており、以前の定例会で「国や道へ法整備について働きかけていく」との答弁があったが、町からの働きかけによる国や道の反応をお聞きしたい。

答 要請活動はこれまでも北海道町村会・全国町村会を通じて関係省庁へ行っている。何より国による法整備が重要と考えており、引き続き北海道町村会・全国町村会を通じて要請を行っていく。

美幌高校 問 生徒確保に向けた取り組みは

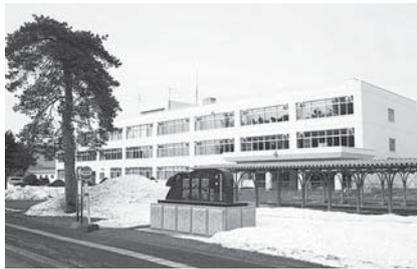
木村 利昭議員

答 今後も事業支援を図っていききたい。



問 生徒確保のため、町と美幌高校が連携した学校運営と道外中学校へのアプローチを検討すべきと考えるが、行政の考え方は。

答 本年度も美幌高校支援のため各種事業に補助しており、その一つの「魅力発信事業」は生徒募集活動にも使用できるため、美幌高校と協議した中で、積極的な募集活動を検討し



～ 美幌高校 ～

また、昨年設置した「北海道美幌高等学校教育振興対策協議会」において、オール美幌体制で魅力ある高校づくりのため取り組んでいる。行政としても、今後も美幌高校・地域と連携した中で事業支援を図っていききたい。

移住定住

専門窓口の設置は

問 移住定住者の協力ののもと、官と民が連携し移住定住希望者に寄り添う対応を行うことが効果的ではないか。民の力を活かした官民連携で行う移住定住促進専門窓口を設置する考えは。

答 4月から地域おこし協力隊員による「移住定住サポーター」を配置しており、専門窓口として活動している。今年度は、移住定住希望者の対応を行うとともに、各市町村の取り組み

内容の収集と本町の課題の洗い出しなどを実施する予定。今後は先進地の事例なども参考にし、より効果的な移住定住施策の推進を図っていききたい。

空港へのアクセス

バス路線の延伸は

問 9月まで運行していた網走バスの「網走―美幌線」が廃止になり、美幌町と女満別空港を結ぶ公共交通が無くなった。観光まちづくり協議会が実証実験を行ったデマンド型タクシーについても利用状況が少ないように見受けられる。そこで、現在定期運行している北見バスの「北見―女満別空港線」を美幌町市街地まで延伸してもら

要望をする考えはないか。

答 北見バスの「女満別空港連絡線」の市街地への乗り入れについて、北見バスと協議を行ってきたところだが、運行所要時間や運行経費、需要見込みなどからルートの変更は難しい状況。コミュニティタクシー実証実験の動向も注視しているが、今後も女満別空港へのアクセスのあり方を検討していきたい。



～ 女満別空港 ～

教育行政 問 特別支援学級の教育環境整備の考え方は

坂田 美栄子 議員

答 個の特性に応じた学習提供に取り組んでいく



びほろ町 ぎかい

令和2年2月1日発行

問 美幌小学校の特別支援学級は、6学級で5教室を使用しており、児童数に対して教室が狭く、1廊下で学習が行われたりしている。この現状をどう認識しているのか。また、特別支援学級の教育環境の整備に対する考え方は。

答 どの取り組みを行うほか、廊下での学習は児童の体調や学習状況を確認したうえでやむを得ず授業を分ける措置であり、支援員の援助のもと、教員の目の届く範囲で実施している。教育環境の整備については、今後も学校との連携を図り、障がい種別による個の特性に応じた学習提供に取り組んでいきたい。

問 特別支援学級では視覚支援が必要な児童が多いため、タブレット端末の導入やWi-Fi環境の整備についての考え方は。

答 タブレット端末については、小学校で全学級に1台ずつ、中学校では教科担任に1台配備することで進めており、来年度に町内全学校に整備される予定。Wi-Fi環境については、町内全学校で完了している状況。なお、視覚支援が必要な児童に対しては、画像や動画を見せることで有意な場合もあることから、今後も状況に応じて導入を考えていく。

問 6学級ある特別支援学級には1台もテレビが設置されておらず、譲り合っ

使用しているため、使用できないことも多いと聞いている。各学級へのテレビ設置についての考え方は。

答 現在、特別支援学級にテレビの設置はなく、使用の際は1台の移動式テレビを融通し合いながら利用している状況。テレビは効果的な教材の一つであるので、各校の実情を把握し計画的に設置していきたい。

近年、コンタクトレンズを使用し始める年齢の低年齢化やインターネットでも購入が可能などから、目に異常を感じても眼科を受診しない子どもが増加している。美幌町の児童・生徒のコンタクトレンズの使用状況



高齢者福祉 問 高齢者専用ワンストップサービスが必要では

岡本 美代子 議員

答 地域包括支援センターにより提供できている



問 町では多くの相談窓口を設けているが、高齢者が相談したいことがあった場合の高齢者専用のワンストップサービスが必要ではないか。

答 介護・福祉行政の一翼を担う公的機関として「地域包括支援センター」における包括的支援事業実施方針」を示し、総合相談支援などの業務を社会医療法人恵和会に委託している。

地域包括支援センターは、しゃきつとプラザ内の民生部と同フロアにあり、保健師や関係部局などと連携しているため、高齢者専用のワンストップサービスは実現できていると考えている。

もひきこもりを続ける子を高齢の親が支えている「8050問題」について、美幌町における中高年のひきこもり対策の実態は。

答 これまでも「ひきこもり」については、家族などからの相談により必要な機関に繋げる取り組みを行っている。精神保健福祉士や保健師による「こころの健康相談」の実施や、地域包括支援センターではチラシ折り込みなどの周知活動も行っている。また、北海道から受託した北海道精神保健推進協会



～ 地域包括支援センター ～

引きこもり対策

実態把握は

問 中高年になって

が「ひきこもり対策推進事業」を実施しており、「ひきこもり」外来やデイケアの相談など、医療機関だけでなく就労支援や相談機関に繋ぐ取り組みを行っている。



外来種駆除

取組みの考え方は

問 環境省の要注意外来生物に指定されているアメリカオニアザミについて、町内でも繁殖している場所があり、繁殖力が強く、硬いトゲを持ち危険であることから駆除が必要と考

えるが取り組む考えは。答 町広報紙やその他報道等を活用し、アメリカオニアザミの特徴や駆除の方法、外来種が抱える問題などをわかりやすく町民に伝え、各自で駆除していただけるよう周知を図りたい。今後も博物館講座や展示などを通じて、広く外来種問題について啓蒙活動を充実していきたい。



～ アメリカオニアザミ ～

新規就農者

新規就農者支援対象年齢を拡大しては

大江 道男議員

国の対象年齢引き上げに合わせ拡大予定



問 新規就農者等支援事業補助金の対象年齢現行45歳未満を55歳程度に拡大してはどうか。

答 国が対象年齢を50歳未満に引き上げるため、町も同様に50歳未満に拡大することを考えている。

問 「経営継承者を除く」という要件について、形式上経営継承者となっている後継者についても支援対象にしてはどう

か。

答 要件の緩和については現在のところ見直しは考えていない。

問 「1経営体1名に限る」という要件について、1経営体複数就農とした場合でも支援対象にしてはどうか。

答 JAから寄せられた担い手対策に向けた意見を踏まえて要件の見直しを考えている。

問 現行の支援項目以外に、農業後継時に一律の祝い金の支給をしてはどうか。

答 就農開始後には、農業生産への不安、

生計の維持・確保などから国に上乘せして就農奨励補助を行っているため、現在、新たに就農祝い金を創設することは考えていない。



峠の湯

集客増対策について

問 峠の湯びほろの昨年の泉源改修工事後、再び湯温が低下

し、湯量は毎分110リットルで自噴しており、足湯つきドックランには湯温・湯量を十分確保できる状態であるため、早急に設置の検討をしてはどうか。

答 足湯の適温は38度から40度と言われているため加温しなければならず、燃料費の負担が伴うこと、また、ドックランの運営には狂犬病予防接種の確認や衛生管理の徹底が必要になることも考えられるため、現状では設置を考えていない。

問 利用増が課題となっている状況から、高齢者等の要望に応えて峠の湯びほろへのワンコインバスの運行を検討すべきでは。

答 ワンコインバス

は現在市街地内を、右回り、左回りそれぞれ約1時間をかけて周回している。峠の湯びほろへ運行する場合については、運行時刻やコースに大幅な変更が必要となり、乗車時間や目的地までの所要時間が長くなることから難しい状況。今後、地域公共交通ネットワークのあり方を検討の際に、峠の湯びほろへの交通手段も検討していく。



～ 峠の湯びほろ ～

平成30年度決算は審査意見を付して認定

一般会計・特別会計【審査意見(要旨)】

一般会計等決算審査特別委員会（稲垣淳一委員長）に付託された一般・特別会計の決算は審査意見を付して認定とする委員会報告のとおり決定しました。

1 一般会計全般について

本町の財政状況は、二度にわたる財政運営計画に基づき、中長期的な財政見通しの下、財政の健全化に向けた取り組みを強化してきた結果、各種財政指標、地方債残高、基金残高において、概ね健全な状態にあると言える。引き続きこの状況を維持されたい。

しかしながら、今後も人口減少や少子化・高齢化がさらに進み、老朽化や耐震不足により、多くの公共施設の整備が必要となるなど、極めて厳しい状況が続くと思われる。集約・統合などにより維持管理費の節減に努められたい。

2 収入率向上対策について

公営住宅使用料の現年度分収入率は、6年連続で100%を維持していることは、同規模自治体と比較しても特筆すべきもので、職員の日頃の努力の賜物と大いに高く評価したい。

また町民税、各種収入においても、平均96.4%という高い水準を維持しており、関係職員の取り組みを評価したい。引き続き、負担の公平性と適正化を図るための収入率向上に取り組まれたい。

特別会計においても、高い収入率を維持しているところだが、引き続き全庁あげての適正な債権管理と徴収強化対策に努められたい。

3 ふるさと寄附金への取り組みについて

平成30年度のふるさと寄附金の収入額は前年度から増額となっているが、今後も受納額の増大に向けた取り組みと、美幌町の魅力の情報発信に努められたい。

一般・特別会計決算額

会計名	収入(歳入)	支出(歳出)	差引	
一般会計	107億9,903万円	107億2,685万円	7,218万円	
特別会計	国民健康保険	26億4,287万円	26億1,425万円	2,862万円
	後期高齢者医療	2億9,771万円	2億9,719万円	52万円
	介護保険	18億4,454万円	18億4,198万円	256万円
	公共下水道	9億7,043万円	9億6,733万円	310万円
個別排水処理	7,451万円	7,449万円	2万円	

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

企業会計【審査意見(要旨)】

企業会計決算審査特別委員会（高橋秀明委員長）に付託された水道・病院事業会計の決算は審査意見を付して認定とする委員会報告のとおり決定しました。

1 水道事業会計について

人口減少の中、年間総配水料は前年度比で0.3%減少し、有収水量も前年度比1.5%減少となっているが、經常収支比率、営業収支比率は健全な数値で推移しており、良好な状態が維持されていると認められる。

しかしながら、水道事業を取り巻く状況を見ると、今後は給水人口の減少による収入減が見込まれる。

施設整備及び有収率、不明水の改善にも関連する配水管更新のために多額の財源確保が必要となることを踏まえ、さらなる経費節減、支出削減に努力され、計画的及び的確な整備更新を行い、「安心・安全・安価な水の供給」という使命の継続に努力されたい。

企業会計決算額

区分	収入(歳入)	支出(歳出)	
水道事業	収益的収支	5億2,218万円	4億1,612万円
	資本的収支	1億4,240万円	3億9,811万円
病院事業	収益的収支	20億6,752万円	21億6,474万円
	資本的収支	1億9,578万円	2億9,957万円

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

- 収益的収支
営業収入と、その営業に必要な人件費や維持管理費等の支出の収支
- 資本的収支
建設工事を行う際の収入（国・道補助金等）と建設・改良や機器等を整備するための支出の収支

2 病院事業会計について

平成30年度は前年度に比べ、入院患者は減少したものの、外来患者数は増加し全体では0.1%の増となっている。収支は今年度も純損失となり、依然として厳しい状況と言える。

一方で、地域医療体制の充実や内部改革の取り組みなど、関係者の努力が認められる。

今後も地域の基幹病院として、新公立病院改革プランに沿った国保病院が担うべき役割を果たし、安定経営の実現に期待する。

移住・定住施策、 公共交通施策等を調査

総務文教厚生常任委員会 委員長 戸澤義典

総務文教厚生常任委員会（戸澤・馬場・岡本・大江・上杉・藤原・木村）は、10月7日～10日に道内先進事例を視察調査しました。

◆移住・定住施策（伊達市）

伊達市は、高齢者が安心安全に暮らせるまちづくりを目的として、「伊達ウェルシーラード構想」を官民協働で実施しています。

この事業では、民間が建設運営する生活サポートが整った賃貸マンション、市有地を活用して民間の開発により優良田園住宅を分譲、商工会議所が事業主体となり運行する乗り合い型のデマンドタクシー



～ 移住・定住施策(伊達市) ～

などが組み合わされ、高齢者を対象とした新しい生活サービス産業の創出を実現しています。特徴は「行政は営業」という観点から、民間とのパートナーシップの下に取り組んでいる部分であり、多様な業種の若い層が中心となったことで、様々な企画が提案され、事業の実施に繋がっています。

◆公共施設の集約・再編の取り組み(室蘭市)

室蘭市では、廃校となった市街地の中学校の跡地を利用し、設計・施工・維持管理を一括して民間委託する「DBO」方式により建設された複合公共施設「生涯学習センター（きらん）」を視察。

施設には、キッズパークなどの子育て機能、工芸、料理が行える施設や貸しスタジオなどがあり、多世代が交流できるようになっていきます。

散在している老朽化や耐震性能不足、バリアフリー未対応の公共施設の対応を迫られる中で機能の集約ができる複合公共施設の整備が決定したもので、建設地には商業施設の中心部にあり、交通の便も良い場所にあった中

学校跡地が選定されています。また、隣接にビジネスホテルと有料駐車場が整備され、集客の相乗効果も生まれています。



～ 生涯学習センター(室蘭市) ～

◆地域公共交通施策（安平町）

安平町では、人口減少や高齢化により、公共交通でしか移動ができない住民の増加を想定し、JR・路線バス・デマンドバス・ハイヤーなど多岐にわたる公共

交通を、利用実態調査や住民アンケートの結果をもとに、重複路線の廃止、公営・民間バスの統合、共通回数乗車券の発行、町内の公共交通をすべて網羅した総合時刻表の作成などにより、利便性の向上と町内の回遊・交流空間を促進する交通体系を構築しています。

また、75歳から80歳の運転免許自主返納者には、年間3万3千円分の共通回数乗車券を3年間交付するなど、高齢者の公共交通利用促進を図っています。

どの視察先にも今後がたくさんありました。視察先の事例を参考に、町の施策に反映できよう取り組んでいきます。

滞在型観光施策、 産業振興施策を調査

経済建設常任委員会 委員長 松浦和浩

経済建設常任委員会

(松浦・稲垣・坂田・

古館・高橋・伊藤)、

大原議長は、11月18日

から22日に道外先進事

例を視察調査しました。

◆住みやすく居心地
の良い街づくり

高松市の丸亀町商店

街は四国一の商店街

として発展してきました

が、一九九〇年代後

半には郊外型ショッピ

ングセンターの出店な

どにより、商店街内の

廃業や退店が続出しま

した。そこから生き残

るための方策として、

「商店街周辺居住者の

増加による新たな消費

の創出」をテーマに再

開発事業に取り組み、

街なかに居住者を取り

戻し、商店街の賑わい
を復活させています。



～ 高松丸亀商店街(高松市) ～

◆地域連携DMOの
取り組み

徳島県三好市は、周

辺の二市二町で「にし

阿波観光圏」として広

域的に連携し、農山村

の「ありのまま」を体

感してもらおう「体験型

観光」、訪日外国人ツ

アーや教育旅行を受け

入れる「交流観光(コ
ミュニケーションツ
リズム)」等により長
期滞在者の集客を図り、
大きな経済効果を上げ
ています。

◆地元雇用型サテラ
イトオフィス・企業誘
致

徳島県三好市は、企

業・団体が本部と離れ

た場所に事業所を設置

するサテライトオフィ

スを誘致しています。

企業立地の促進と地元

雇用機会の拡大を目的

に、ブロードバンドの

環境整備や充実した支

援制度等、様々な施策

により着実な成果を上

げています。

◆しまなみ海道を核

とするサイクルツーリ

ズム

広島県尾道市と愛媛

県今治市、上島町の3

市町を中心に構成され

たエリア全体で、観光

産業振興を図る官民連
携の広域連携DMO
※に取り組んでいま
す。その中でも、サイ
クルツーリズムの取り
組みは日本トップクラ
スであり、サイクルリ
ングを切り口に地域の活
性化や滞在型観光の促
進が図られています。



～ レンタサイクルターミナル(尾道市) ～

◆星空等を活かした

滞在型観光

岡山県井原市では、

滞在型観光の推進によ

り観光消費の拡大につ

なげるため、観光資源

のブランド化を進めて
います。

その一つとして、市

内美星町びほろにおいて日本

初の光害を防止する

「美しい星空を守る美

星町光害防止条例」を

制定し、「美しい星空

を中心としたまちづく

りが行われています。



～ 光害防止条例 ～

多くの先進事例から、
本町ならではの資源の
可能性を検証し、美幌
町の産業振興に繋がる
政策に取り組んでいき
ます。

※DMOとは、観光
による地域創生、地域
活性化推進を目指す官
民の連携による地域連
携の取り組み

議会運営効率化のため斜里町議会を視察

令和元年12月26日、今後の議会運営の効率化を検討するため、管内の先進地である斜里町議会を視察しました。

斜里町議会では「議会モニター制度」や「議会のITC化」が進められており、制度導入についての経過や課題などについて貴重な話を聞くことができました。

視察で得た情報などを参考に、今後も会議運営の効率化を目指し、議員間で活発に議論していきます。



こんなことを決めました

11月臨時会

専決処分の承認 1件

北中学校吹奏楽部の東日本学校吹奏楽大会中学校の部出場のための負担金



条例改正 3件

人事院勧告に基づく給与・手当等の改正

補正予算 8件

条例改正に伴う人件費等の補正

陸別町議会が美幌町を視察

令和元年11月21日、陸別町議会議会運営委員会（議員4名、職員2名）が、美幌町の議会広報の編集及び発行方法について視察に訪れました。

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

3月定例会は3月3日(火)から開かれる予定です

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

議会ホームページもご覧ください

「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。

●美幌町ホームページ

(<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp>)

から「美幌町議会」をクリックしてください。

あとがき

▼役場庁舎、消防庁舎、多目的運動場の工事もそれぞれ厳寒の中順調に進んでいます。新たな町のシンボルの完成が待たれるところです。

▼本号では昨年実施した視察について報告しています。今後のまちづくりに新たな視点で取り組み、より美幌町が輝いていけるよう先進地の事例を学んできました。これからの議会の取組みはもとより、議員個人々の活動にも注視してみてください。

▼2月15日に美幌町民会館において「美幌高校生徒会と議員との意見交換会」を実施します。双方が考える町への思い、今後の進路等について語り合います。乞うご期待。

(淳一)

議会運営委員会

- 委員長 上杉 晃央
- 副委員長 高橋 秀明
- 委員 岡本美代子
- 委員 稲垣 淳一
- 委員 木村 利昭